



元気にすくすくおおきくなあれ！ (花園保育園入園式)

さかわ *Sakawa* 議会だより

66
2016.5.1

発行 高知県佐川町議会

3月定例会

contents 目次



友達いっぱいできるといいね (花園保育園)

平成28年度一般会計予算	74億8,002万円	2
議会の注目	集落活動センター事業	5
	第5次総合計画をどうすすめる (一般質問)	11
議会懇談会	今年も実施	19

平成28年度 一般会計予算

74億8,002万円

集落活動センター事業

2億8,373万円

黒岩保育所新築事業

2億6,796万円

賛成全員で 可決

3月定例会は、4日から11日までの会期で開かれました。

平成28年度一般会計予算をはじめ平成27年度補正予算、条例の制定や改正などが上程され、議案40件を審議、賛成全員で全件可決しました。

一般質問には9人の議員が登壇し、町政全般について、活発な論戦を展開しました。



平成28年度の一般会計予算は約74億8千万円、前年に比べて約6億1千万円の増となっており、前年度からの増加率は8.9%となっています。

主な取り組みは、集落活動センター事業（斗賀野・黒岩・加茂）、霧生閑建設事業、黒岩保育所新築事業、道路・水路等の基盤整備事業となっています。

歳入

入るお金

平成28年度の自主財源（町民自身が税金等で負担するお金）は約23億1千万円。主な収入となる住民税や固定資産税などの町税が昨年より4.5%増の約10億8千万円。

歳出に対して、足りない額を補うため、財政調整基金（貯金）等から6億1千万円を繰り入れています。

国や県からくるお金のうち主たる地方交付税は18%減の約24億9千万円となります。

歳出

出るお金

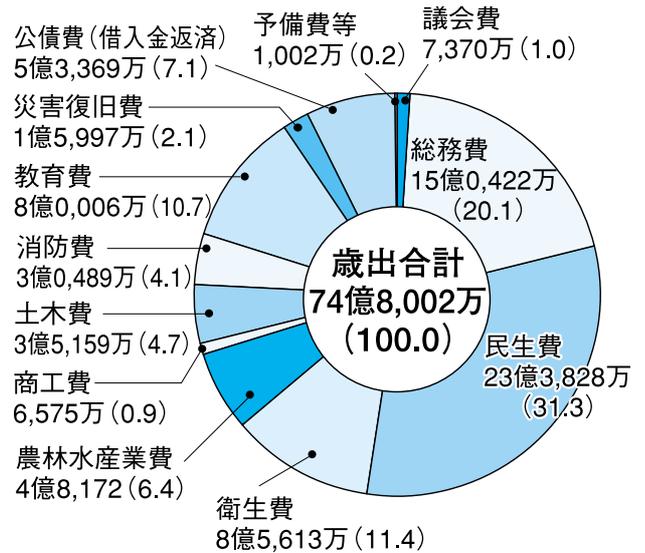
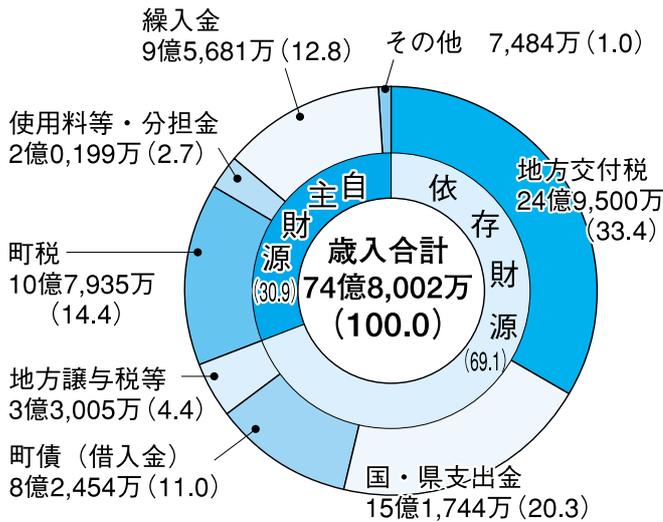
人件費は昨年より3.8%増の約9億8千万円。投資的経費は40.1%増の19億4千万円となっています。

平成28年度予算

総額 130億5,544万円

単位：円（％）

平成28年度 一般会計予算



平成28年度各会計の当初予算

(単位：円)

会計名	本年予算総額	前年度予算総額	比較増減	
一般会計	74億8,002万	68億6,830万	6億1,172万	
特別会計	国民健康保険	19億8,009万	20億1,049万	△3,040万
	住宅新築資金等貸付事業	242万	330万	△88万
	学校給食	5,663万	5,663万	0
	農業集落排水事業	2,942万	2,858万	84万
	介護保険	18億4,326万	18億2,665万	1,661万
	後期高齢者医療	2億1,638万	2億1,602万	36万
	水道事業	4億1,597万	3億5,361万	6,236万
	病院事業	19億5,773万	19億5,920万	△147万
総計	139億8,191万	133億2,277万	6億5,914万	
重複額	9億2,647万	8億4,336万	8,311万	
全会計純計	130億5,544万	124億7,941万	5億7,603万	

※水道事業および病院事業会計の予算額は（収益的支出額＋資本的支出額）を計上

この事業に議会が

注目

3月定例会において、平成28年度当初予算の中から、議会が注目する事業を紹介します。



会員登録制による、乳幼児・小学生等の児童一時預かりの相互援助の仕組みを作り、子育て世帯を支援します。

ファミリーサポートセンター事業

256万円

児童の安心安全、健全な成長を目的とし、28年度は保育所新築工事および付帯工事を実施します。

黒岩中央保育所新築事業

2億6,796万円



みんなで子育て応援します！



保育づくりを子どもたちもお手伝い（黒岩中央保育所）

国保税の値上げを抑制するため、不足が見込まれる金額を一般会計から補います。

**国保会計不足分
操出金**

6,260万円



耐震化される文化センター体育館

文化センター体育館および地下タンクの耐震工事を実施します。

文化センター 耐震化事業 9,211万円

地域の交流・支え合いの拠点施設として、また、高齢者や障害がある方などの地域の身近な相談窓口として、斗賀野・尾川で開設しています。

あったかふれあい センター事業 1,528万円



人気の認知症予防教室（斗賀野）

集落の維持・活性化を目的とし、斗賀野・黒岩・加茂の3地区に新設します。

集落活動センター 事業 2億8,373万円

新たに10名採用し、自伐型林業12名、観光2名、総合型1名、農業2名、ものづくり4名で活動していきます。

地域おこし協力隊 9,455万円



煙突も佐川の文化遺産



ものづくり4名の協力隊員

司牡丹1号蔵煙突の耐震補強設計や牧野公園の整備を実施します。

歴史まちづくり 1,300万円

平成27年度3月 補正予算

(単位：円)

会計名		補正額	補正後の額
一般会計		4,913万	72億3,844万
特別会計	国民健康保険	755万	20億3,509万
	住宅新築資金等貸付事業	0	4,097万
	学校給食	△50万	5,613万
	農業集落排水事業	△329万	2,530万
	介護保険	△1,088万	18億3,536万
	後期高齢者医療	299万	2,092万
	水道事業	△3,297万	3億1,923万
	病院事業	0	19億5,919万

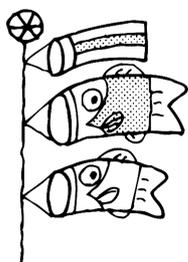
※補正減額は主に事業の精査をした結果生じたものです。

補正予算質疑

下川議員 森林ICTプラットフォームフォーム委託料の内容は。

産業建設課長 地方創生加速化交付金を導入して実施。山林集約の推進と正確な森林情報の管理を行う。さまざまな情報を行

一元化し、自伐型林業を推進することも多面的に活用する。



JR西佐川駅 改修事業 1,500万円

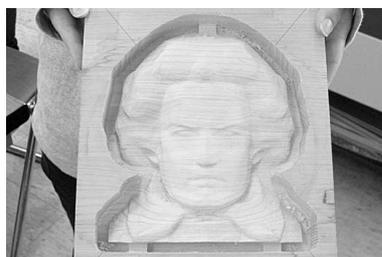


仁淀ブルー観光協会が入る西佐川駅

地域の交流スペースとして、駅舎の改修工事を施工します。また完成後は仁淀川流域の観光情報を発信する「仁淀ブルー観光協議会」事務所も入居予定です。

ものづくり推進事業 2,040万円

レーザーカッターや3Dプリンター等のデジタルツールを活用したものづくりを推進し、雇用創出、起業支援を実施します。また総合学習の一環としての学校教育との連携や、観光事業との連携も実施します。



何をつくるかアイデア次第

森林ICTプラットフォーム導入事業 4,500万円

自伐型林業の要となる、山林集約の推進と正確な森林情報管理のため、「森林ICTプラットフォーム」の事業を実施します。

3月定例会で決まりました

条例改正

佐川町福祉基金 条例の制定

現行の複数の福祉基金を統合し、町民福祉の向上に資する経費に充てるため、新たに条例を制定する。

佐川町行政不服 審査条例の制定

新たに設置する佐川町行政不服審査会の組織及び運営について、新たに条例を制定する。

計画変更

佐川町消防団員 の報酬及び費用 弁償に関する条 例の制定

年度途中の入退団や階級の移動に伴う報酬の変動についての規定を定めるため、新たに条例を制定する。

佐川町空き家活 用住宅の管理運 営に関する条例 の制定

町内の空き家所有者から10年間借り上げた住宅を、移住促進住宅として移住者に提供するための規定を定めるため、新たに条例を制定する。

四ツ白・二ツ野 に係る総合整備 計画の変更

詳細測量の結果、当初計画より工期の延長及び事業費の増額が必要になったことから、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の規定により、総合整備計画を変更する。



指定管理者の指定

管理を委託する施設	管理を行う団体
加茂地区住民センター老人憩いの家	加茂地区自治会長会
斗賀野あおぞら公園	特定非営利活動法人 とかの元気村
旧伊藤蘭林塾	8区自治会
佐川町多目的集会施設	コスモス農業協同組合
富士見町部落公民館	富士見町自治会
三野公民館	三野自治会
佐川町立虚空蔵山わんぱく広場	特定非営利活動法人 とかの元気村
池田団地集会所	池田団地自治会

ここを 聞いてみた

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計

坂本議員 地域公共交通において実証運行はどのように行われるのか。

チーム佐川推進課長 10人乗りのワゴン車を購入する。国の認定を受けてから平成28年度後半に実証運行に入る予定。

坂本議員 防犯灯の予算を増強して早期に完了するようできないか。

総務課長 自治会の要望を聞き検討する。

坂本議員 黒岩中央保育所の新築において広さはどうなっているか。

健康福祉課長 敷地面積、床面積とも現在より広い。

坂本議員 私立保育所の運営費が減っている理由は。保育単価は減っていないのか

健康福祉課長 平成27年

度は新法になり予算を多めにとっていた。平成26年度と比較すると減っていない。

坂本議員 病後児保育の計画はどうなっている

健康福祉課長 5月の連休明けにはスタートする予定。利用料は1日千円。時間は午前8時から午後6時まで。



病後児保育実施場所（松崎）

NTT社宅跡地がかわせみ駐車場に



下川議員 かわせみの駐車場増設について聞く。

健康福祉課長 NTT社宅跡地を借り上げ整備する。

下川議員 緊急避難所耐震改修工事の内容は。

総務課長 室原、本村西、市の瀬、下郷、長竹の公民館5カ所を計画している。

中村議員 集落活動センターについて聞く。

チーム佐川推進課長 黒岩、加茂、斗賀野に設置する。斗賀野については場所は決定していない。

徳弘議員 自衛隊入隊入校激励会になぜ出席できなかったのか。町長 公務で出席できなかった。



耐震改修予定の室原公民館

国保会計

下川議員 保険事業支援委託料の内容は。

町民課長 医療費の適正化のため糖尿病性腎症の重症化予防と重複受診者指導等の内容となっている。

介護保険

下川議員 認知症初期集中支援チームについて聞く。

健康福祉課長 対処療法的な対応ではなく予防に重点を置く。専門家チームをつくり相談支援をチームで行う。認知症エッセイも導入する。

9人が町政を問う

ここが聞きたい



松浦 隆起 議員

国土強靱化計画

早急に策定を

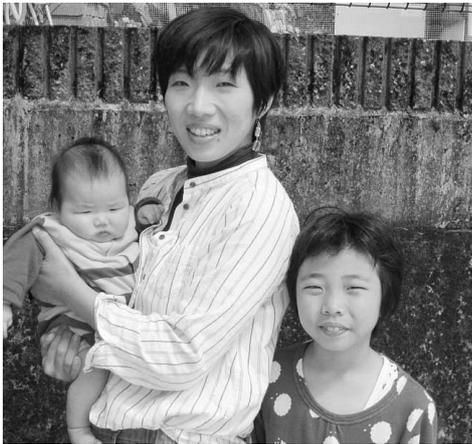
町長 平成29年度中に取り組みたい

「国土強靱化地域計画」は、「どんな災害が起これば、どんな被害が起これば、いつまでも元気であり続ける強靱な地域をつくり上げるための計画」だ。町民の生命、財産を守ることを最大の目的として、事前の備えを効果的に行う観点から、早急に策定・公表するべきではないか。

堀見町長 大変重要な地域計画だと認識している。この計画がすべての計画の上位に位置するという話もあったが、総合計画もできたところであり、平成28年度に少し検討して、平成29年度中には国土強靱化地域計画ができるような取り組みにしていきたい。

産後支援ヘルパー制度 必要な施策

町長 1年間かけて検討したい



子どもは地域の宝もの！

「産後支援ヘルパー制度」は出産後の産褥期の母親を支援するため、ホームヘルパーを派遣し家事や育児を援助するものであり、母親の精神的、肉体的不安を軽減することを目的とした事業であり、必要な施策の一つだ。

堀見町長 とても大切な取り組みだと考えている。導入するしないについては、1年間かけて検討して方針を決めたい。岡崎健康福祉課長 行政だけでなく、地域の方の見守りも含め、町全体で見守っていくというような形も含めて検討したい。

今、婚姻届けを記念となるものにしよう、その日のことをいつまでも思い、それぞれの夫婦の原点にしてみらおうという取り組みが多くの自治体で行われている。本町においても、本町で結婚をされるご夫婦を最大限にお祝いし、歓迎する思いで、記念用のご当地婚姻届けを作成し、取り組んでどうか。

記念用婚姻届 取り組んではどうか

町民課長 町独自で検討、作成し配布したい

麻田町民課長 松浦議員から聞かせていただいた話の内容や、ほかの市町村の事例等を参考にし、町独自で検討、作成し、配布するようにしたい。

現在の婚姻届

放課後子ども教室 充実を

教育次長 **改善していく**

坂本 玲子 議員



放課後子ども教室は、斗賀野、黒岩、尾川で実施されている。保護者が働いている家庭では、振替休日や冬、春休みなどに開催されなくて困っている。子どもが放置されることのないよう前向きに検討を。

吉野教育次長 保護者の方々のご要望は認識している。その課題を解消し改善する方向で検討していく。今年度から試行的に春休みに4日間、開催する予定だ。また地域で子供の居場所づくりの取り組みも考えたい。

学校現場

業務改善を

教育長 **進めていきたい**

全国的に学校現場の業務が多忙化し、病休者が増加。教職員の負担の増大が問題視されている。教師が子どもと向き合う時間を保障するため、業務改善に取り組むべきだ。また、町だけではなく県全体でも考えていくべきだ。



今年から春休みも子ども教室が開催

川井教育長 佐川町ではスクールカウンセラーを配置、また地域の力を借りる、学校支援地域本部事業、放課後等学習支援事業などに取り組んでいる。しかし十分とは言えず、今後学校とも協議を進めていく。また、県全体で取り組めるよう働きかけたい。

障害児者

これからの施策は

町長 **できる限りのことをする**

みんなが幸せで住み続けられる町であるためには、健全な方はもちろんだが、障害を持った方も住み続けられるような施策が必要だ。平成28年度に取り組む施策を聞く。また町として今後どういう姿勢で臨むのか。

岡崎健康福祉課長 平成28年度は障害児休暇支援事業や移動支援の予算化をした。

堀見町長 障害児者への支援は町としてできる限りのことをしていきたいという方針だ。



学校現場は大忙し！



森 正彦 議員

平成28年度 予算の方針・特徴は

町長 幸せな町づくりのため

平成28年度当初予算の編成方針と予算の特徴は。

堀見町長 町の経営理念として、幸せな町にするために、町一丸となって経営していくという方針だ。第5次総合計画に基づきまちづくりを一歩ずつ進めていく。
横山総務課長 斗賀野、黒岩、加茂に集落活動センターを建設、黒岩中央保育所の新築、霧生園公園の整備が大きな事業だ。



明るくきれいな鳥取県北栄町の図書館

町立図書館 整備の方針は

町長 佐川にふさわしい図書館を

図書館整備検討委員会からの提言の内容は。それを受けての町の方針は。
川井教育長 提言書では、利用しにくい施設や少ない蔵書数、予算が大

きな課題とされている。また、文教のまち佐川にふさわしい図書館にするためには、新図書館の建設が望ましい。
青山文庫との合築については財政面を考慮して慎重に検討する必要がある。町民の意見やニーズを踏まえ、スピード感を持って取り組むことを強く要請する内容となっている。
堀見町長 文教のまち佐川にふさわしい図書館があるのが望ましいと思っている。

第5次総合計画 評価は

町長 すばらしい計画ができた

策定された総合計画の町長としての評価は。策定した計画を絵に描いた餅としないために、今後どのように推進していくのか。

堀見町長 役場職員はじめ、多くの住民の皆さんに参画していただいて、大変すばらしい総合計画ができたと思っている。

実施計画については10年間にそれぞれの施策

をどの時期に実行するのか計画をつくっている。総合計画の審議会は、年2回実施し、見直しや修正を行い、計画が絵に描いた餅にならないようにしたい。

その他の質問
○農業問題について



みんなで作った総合計画

男女共同参画 審議会へ女性の登用を

町長 目標立て、進める

今橋 寿子 議員



国も県も政策の場合の女性の登用に力を注いでいる。県の審議会では平成26年度は女性33・5%となっており、平成31年度には均衡を目標としている。佐川町での目標はあるのか。

また並行して女性リーダーを育成していく必要があると考えられるがどうか。

堀見町長 まずは意識づくりに重点的に取り組むこととして広報等に掲載していく。審議会での女性の登用の目標数値は現時点では設定していない。平成28年度中には設定したいと考えている。

リーダー育成は職員の資質を高めていくうえで大切で、男女問わず研修等により育成に取り組んでいく。

学校給食と食育 取り組みは

教育長 連携して取り組む



食はいのちの源

学校給食における地産地消の取り組みはどのようになっているか。給食の残食はどうか。

また食育の取り組みをどう進めていくか。

川井教育長 お米、牛乳、野菜、果物等3割は町内産だ。残食等は県平均4%だが佐川町では2%程度で少ない。それぞれの課の連携により佐川町が食育の町づくり、健康なまちづくりを発信できるようにしっかりと取り組んでいきたい。

18歳選挙権 主権者意識育てよ

選挙管理委員会事務局長 広報で呼びかける



選挙に行こう (佐川高校生)

改正公職選挙法が公布され選挙年齢が18歳に引き下げられる。政治離れが進んでいる中、主権者意識をどのように高めていくのか。高校生の模擬議会はできないか。

横山選挙管理委員会事務局長 町広報等で呼びかけていく。

模擬議会については高校側がどう取り組みたいのかによる。



片岡 勝一 議員

霧生関

埋立地の活用は

町長 災害時後方支援基地に



ヘリポートと後方支援基地ができる霧生関

霧生関埋立地活用については、平成25年12月議会に質問があり、白紙に戻すと答弁。平成26年6月には、ヘリポート設置に向けて挑む、平成27年9月議会では、大型ヘリポートを平成28年度中に完成を目指すとの答弁。計画を立て現町長で仕上げてもらいたい、考えはどうか。

堀見町長 公園としての整備計画は、一度白紙に戻すとの思いで答弁した。辺地計画も立て、開発許可も取り進めた事業であり、手つかずで置くつもりはない。ヘリポートの整備をすることにも、近隣市町村のことを考え、緊急消防隊、警察災害派遣隊宿営地などを予定している。後方支援として佐川町が中継機能を果たさなければと思う。

異常気象

町の対応は

産業建設課長 防災無線で放送

1月19日から20日にかけての大寒波により、一般家庭、農家、交通にも大きな被害があり水道の凍結などあったはずだが、寒波襲来の予告放送はできたのか。危うく水道管が凍結しかけた集落があったと聞く。火災の発生時に消火栓が凍結破損、使用不能ならばどうなったか不安である。また、橋に添架している管は、被覆されていないが、大丈夫なのか。

渡辺産業建設課長 防災行政無線を活用し、寒波の訪れる可能性の放送をした。また12月広報にも掲載している。水道管については、露出部分は寒波には凍結の恐れがある。行き止まりになっているところは、凍結防止用に水を流すか被覆するかが現在できる対策である。



凍結が心配される水道管



下川 芳樹 議員

集落活動センター 支援・推進体制は

町長 職員の地域担当制検討

新しい総合計画を住民との協働で実現するため、地域の拠点である集落活動センターとの連携が不可欠だ。地域担当職員制度などセンターへの支援及び行政の推進体制について聞く。

片岡チーム佐川推進課長

集落支援員制度を活用し、施設に駐在し中心的に活動に携わる人材を確保する。

堀見町長 役場職員の地域担当制については、1年をかけて庁議の中で議論して決めたい。

右肩上がりの保険料は被保険者の生活を圧迫し、保険者である町の財政も圧迫している。職員と町民が保健行政の現状を認識し、町ぐるみで健康づくりを進める体制はできないか。

岡崎健康福祉課長 介護予防、健康増進、健康づくりの取り組みを振り返り、単体の取り組みを複数絡めた視点で町民と共有し進めて行きたい。

健康福祉課長 町民と共有し進めていく

保険料軽減のため 健康づくり推進を



加茂地区集落活動センター予定地

地域おこし協力隊 取り組みは

チーム佐川推進課長 佐川の地域おこしのために

来年度の地域おこし協力隊は21名だと聞く。これまでの活動状況と新たな取り組みについて聞く。

片岡チーム佐川推進課長 現在の協力隊は11名で、自伐型林業に9名、観光振興に2名である。28年度には新たに自伐型林業3名、農業振興2名、ものづくり大学4名、総合型1名で21名となる。佐川の地域おこしのため頑張ってほしいと考える。

渡辺産業建設課長 自伐型林業では技術の習得、事業の普及・啓発を実施。実践的リーダーとして町内に定住し、地域と林業の担い手になってほしい。

その他の質問
○霧生関公園(仮称)の事業計画について



百歳体操で元気いっぱい！



中村 卓司 議員

国は平成17年度から健康を増進する食育基本法が制定され、それを受け佐川町では佐川町健康増進計画・食育推進計画

健康増進、食育計画 どう進める

健康福祉課長 協議をし進める

がつくられたが、佐川町ではそれをどのように進めていくのか。

岡崎健康福祉課長 佐川町の健康増進計画・食育推進計画は平成28年度までの期限である。次の計画は平成29年度からスタートさせるために健康福祉課が事務局となつて、教育委員会や食生活改善推進協議会、学校、保育農協等とも協議をしながら取り組んでいく。

佐川高校 特色のある取り組みを

教育長 3月中に決定

- 総合計画の中に、佐川高校を魅力ある高校にするために行政、地域が連携を強化し、地域住民の力を借り特色ある授業や活動を実施するところがある、具体的にどのような行つのか。
- 川井教育長
- ① 佐川高校を町民全体で盛り上げる気風の醸成。
 - ② 行政、高校、地域住民の連携強化
 - ③ 学校の取り組みに対する支援の充実
 - ④ 学力向上への支援体制の充実



スポーツで健康づくり



みんなで盛り上げよう！佐川高校

以上4点について今後佐川高校の意見も聞きながら3月中には具体的なことを決定する。

18歳選挙権 どう対応する

選挙管理委員会事務局長 啓発に取り組む

次の選挙から18歳以上の方に選挙権が与えられることになる。行政としてそのことに対してどのような啓発活動をするのか。

横山選挙管理委員会事務局長 選挙人名簿に登録されている高校生以上の方に選挙資料を送付しダイレク卜な啓発に取り組む。町広報誌でも新しい選挙制度の概要を掲載する。また県選管が行っている出前講座や模擬投票にも協力し、選挙に関心の少ない方々にも関心を持ってもらう啓発活動に取り組む。

その他の質問
○マイナス金利が佐川町に及ぼす影響について
○上町の町並み事業について



西村 清勇 議員

黒岩保育所 建設の予定は

健康福祉課長 4月から始める予定

新しい保育所について
これからの予定を聞く。
また構造物を木造にして
はどうか。
岡崎健康福祉課長 ます
ず、造成は4月に入り入



完成が待たれる黒岩保育所予定地

札をしただうえで工事に入
りたい。園舎の建築等は
5月ぐらいに入札し、6
月の定例議会で承認を得
て着工という予定をして
いる。工期については約
8ヶ月程度かかるのでは
ないかと考えている。
堀見町長 黒岩保育所の
構造については木造で設
計を進めている。

投票所 増やしては

選挙管理委員会事務局長 今後の動向をみる

佐川町も全体に高齢化
が進んでいて、選挙に行
きたいけれどタクシーで
は経費もかかる。このま
までは投票率も低下する
と思う。投票所を増やす
ことはできないか。
横山選挙管理委員会事務局長
平成18年に20投票区か
ら15投票区に削減し、現
在に至っている。現時点
では投票所の再設置は行
わない方向である。
しかし高齢者、障害者
の投票環境の向上のため、
国や県、佐川町の地
域公共交通会議の動向を
把握して、その上で新た
な投票区の設定、見直し
を行いたい。

グリーンプロダクツ社員 住む場所の確保は

町長 民間を活用

グリーンプロダクツ
がセルコ跡に来るが一
回目の採用は何名か。ま
た将来的には200人ぐ
らいに増やしたいと聞い
ているが、佐川町に住む
場所はあるのか。
堀見町長 基本的に公営
住宅はつくらない。民間
の方々が住宅を建ててく
れることを期待してい
る。

片岡チーム佐川推進課長
現在のところ雇用につい
ては43人の採用と聞いて
いる。
その他の質問
○中野農免道路について
○観光行政について



企業の進出で働く場が増えた（長竹）



永田 耕朗 議員

上町周辺の整備が進むにつれて観光客が増加と聞く。受け入れ態勢も重要と考える。大型バス駐車場、大型トイレの設置が必要ではないか。

大型バス 駐車場整備を

チーム佐川推進課長 重要な課題と認識

大型駐車場が確保できるまで周辺の民間の土地を借りることも可能ではないか。
片岡チーム佐川推進課長 駐車場の確保については重要な課題と認識しているが、現実的には、専用駐車場設置はなかなか厳しい。空き地の借り上げを考えている。新しいトイレの設置は考えていない。

地場産センター 模型の展示継続を

町長 今のままで

地場産センター2階の町並み模型の展示が評判。佐川の観光の目玉と言っても過言ではない。この2階に、ものづくり大学を置くとの話を2月に聞いた。配置図もできていた。町長は取りやめという答弁があったが、観光客の方は町並み模型に感動している。展示場所が将来に向けて観光客に活用されるよう配慮を。



観光客を楽しませている町並みの模型

のまま模型の展示で観光客の皆さんに楽しんでいただく判断をした。



町を明るく照らす商店街の街路灯

街路灯 安全対策必要

産業建設課長 詳細調べ、対策

現在の商店街の街路灯は207カ所設置されている。古いものは32年が経過している。大地震等が発生すると、上部の落下、柱の倒壊によって災害時の救急車輛の通行を害する。また商工事業者が年間360万円以上の維持費を負担している。南海トラフ大地震に備えて街路灯の耐震化、事業者の負担軽減からもLED化が必要ではないか。
渡辺産業建設課長 環境省で新たな事業化が計画されていると聞いている。詳細を調べ、対策に結びつけていきたいと思う。

堀見町長 慎重に考えていきたい。

その他の質問
○旧青山文庫の列車閲覧室を上町へ。
○小規模企業振興基本法について。

あれはどうなったか？



霧生関公園（仮称）町の方針は

（平成25年12月定例会）

町として今後どのような方向で進めていくのか。（中村議員）

〈関連質問〉

永田、今橋、片岡、岡村議員

町答 長弁

造成工事を行う

大規模災害に対応するため、自衛隊の大型ヘリが離着陸できるヘリポートを整備する。また、緊急消防救助隊、警察災害派遣隊などの宿営地を想定した造成工事を行う。

どうなった

公園建設は白紙

公園建設は無理と判断し、白紙に戻す。今後は、活用方法を探っていく。

平成28年度予算

（単位：円）

会計名	予算額	前年度比	
一般会計	9億4,248万	△1億221万	
特別会計	特別養護老人ホーム	12億1,573万	△2,100万
	養護老人ホーム	1億1,057万	△62万
	障害者支援施設	1億7,241万	△277万
	ふるさと市町村圏	1,878万	251万

消防署
平成27年中の出動状況は、

《組合長 諸般報告》
清掃センター
1月末のごみ総量は7518トン、佐川町が全体の約52%の3910トンとなっている。

高吾北 広域 町村事務組合 議会

3月2日

特別養護老人ホーム
特別養護老人ホームの入所申込者については、春日荘72人、五葉荘80人、もみじ荘16人、あがわ荘45人で、計213人となっています。
この申込者の中には、病院で療養中であり医療面での比重が高く入所できない方、あるいは喀痰吸引や経管栄養の必要があり、組合の特別養護老人ホームでは有資格者が少ないことから入所させることができない方、グループホーム等へ入所して、入所の声をかけても現施設を選ばれ入所されない方が含まれているのが現状である。

救急出動が1514件で、このうち65歳以上の高齢者搬送の割合は76%を占めている。
ヘリコプターによる搬送は、構成町の臨時着陸場の積極的な整備により、ドクターヘリや防災ヘリを69回要請しており、救命率の向上に大きな効果が現れている。

—住民の信頼に応えられる議会へ—

議会懇談会を開催します



佐川町議会では今年も議会懇談会を開催します。
 今回で4回目を迎えました。さらに、住民に信頼される議会に向けて、皆さんの生の声をお聞きし、その思いを真摯に受け止め、住みよい町づくりに関与したいと思えます。多くの方のご参加をお待ちしています。

月日	地区名	場所	時間
5月10日(火)	黒岩地区	黒岩多目的集会所	19時から
5月13日(金)	尾川地区	尾川地区住民センター	19時から
5月17日(火)	加茂地区	加茂地区住民センター	19時から
5月20日(金)	斗賀野地区	J A コスモス斗賀野支所	19時から
5月24日(火)	佐川地区	役場2階大会議室	19時から

あなたが選んだ議員の
 仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は6月3日(金)午前9時
 開会予定です。傍聴においでください。

編集後記

議会で健康づくりの推進について、度々質問があがっている。

私は、20歳になり、人並みの事はしようと喫煙を始めた。毎食後3本と決めていたが、段々と増えて1日30〜40本となった。私の母は喫煙もせず酒も飲まなかったががんとなり、余命2年と宣告を受け亡くなった。自分も体調を崩して病院へ。診断は異状有り。精密検査を繰り返して入院。病院の白壁を見ながら「もし社会復帰できたら生まれ変わったと思いたい」と決意。タバコはやめたが、体にニコチンが残っていてその後10年間くらい喫煙する夢を見た。あれから34年、その間何度も生死の境界まで行ったが、未だ生かされている。健康で暮らすことは、本人、家族だけでなく町にとっても財産ではないかと考える毎日である。

片岡 勝一

議会広報編集委員会

委員長	森 正彦
副委員長	片岡 勝一
委員	邑田 昌平
委員	坂本 玲子
委員	下川 芳樹

※わかりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をあ寄せください。

地域で がんばる

わが町佐川には、地域のために活動している組織や人がいます。その皆さんに、スポットを当てて紹介します。今回は地域に溶け込んで活動している地域おこし協力隊の、青山昌弘さんと山崎絵梨さんにお話しをお伺いしました。



青山さんと山崎さん

地域おこし協力隊



虚空蔵山で不用木の伐採

「ユニバーシティ」地域おこし協力隊員になったのですか。

青山 明石市で暮らして

いました。山や自然のなかで自分らしい生活をしたいたいと思ひ応募しました。

山崎

お客さん相手の仕事でしたが、自然を相手に身体を動かして働く仕事をしたかったからです。

「これからの抱負は。」

青山

自伐林業で自立し、自分の山を持つて、そこでヨガ教室等もやってみたいです。

山崎

佐川を大好きになりました。ここで住んで佐川町の森林振興に関わっていったらと思っています。

「どうして入られたのですか。」

青山

ハイ、ずっと前から居たようにしてくれて楽しいです。宴会も楽しいです。

「斗賀野分団の皆さんと楽しくやっていますか。」

「他にどんなことをしていますか。」

青山

いろいろな催しものに参加しています。地区民運動会は優勝したし、楽しかったです。

山崎

とかの元気村や女子会にも参加しています。皆さん優しく楽しいです。

山崎 消防団に入れば、皆と知り合えて楽



斗賀野分団の仲間たちと

「どうもありがとうございます。」

新しい力、新しい風に期待しています。頑張ってください。

あなたの周りに、佐川のまちの元気のために活躍されている「組織やグループ」をぜひ、ご紹介下さい。

